

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(山形県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成26年)	1年後 (平成27年)	2年後 (平成28年)	3年後 (平成29年)	目標値	達成率				計画時 (平成26年)	1年後 (平成27年)	2年後 (平成28年)	3年後 (平成29年)	目標値	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
山形市	農事組合法人nextfarm白川	水稲	水稲生産における10a当たり労働時間【27%削減】 (労働時間16.5hr/10a)	0%削減 (労働時間16.5hr/10a)	23.6%削減 (労働時間12.6hr/10a)	27.3%削減 (労働時間12.0hr/10a)	27.3%削減 (労働時間12.0hr/10a)	100.0%	適切な耕作管理と作業員の役割分担を行い効率的に作業に取り組むことで、労働時間27%削減となり、成果目標を達成した。	水稲	高温耐性品種作付割合【5.8ポイント増加】 (高温耐性品種作付割合29.5% 12.1ha/41.0ha)	+0.7ポイント (高温耐性品種作付割合30.2% 12.4ha/41.0ha)	+0.7ポイント (高温耐性品種作付割合30.2% 12.4ha/41.0ha)	+3.5ポイント (高温耐性品種作付割合33.0% 17.9ha/54.2ha)	+5.8ポイント (高温耐性品種作付割合35.3% 17.1ha/48.5ha)	60.3% (33.0-29.5)/(35.3-29.5)*100	高温耐性品種の「つや姫」の作付は17.89haを上回ったが、整備した施設の利用集積が進み全体の作付面積も大幅に増加したため、達成率は60%にとどまり、成果目標を達成できなかった。	乾燥調製施設建屋工事・籾乾燥調製設備工事 291.6m <sup>2</sup>	71,280,000	25,603,000	0	4,102,000	41,575,000	H28.7.29	圃場の管理や出来秋の作業も役割分担を明確にして取り組んだ結果、作業時間の短縮とコスト削減を実現することができた。 高温耐性品種の作付割合の増加については、作付面積は当初の計画を上回ったものの、農地の集積が進み全体の作付面積が増加したため、割合として目標達成とはならなかった。次年度以降は、高温耐性のある山形県の新品種「雪若丸」の作付を拡大することとしており、確実に目標を達成して高品質米の生産に取り組む。	乾燥調製施設の整備により、構成農家の作業が共同化され乾燥調製にかかる労働時間が削減されるとともに、明確な役割分担により全体の作業効率を向上させることができた。 高温耐性品種の作付については、「つや姫」の作付拡大を図り、面積としては予定を上回る結果となったが、地域の農地集積が予想を上回って進んだことにより、作付割合としては目標値に届かなかった。 当法人は地域からの信頼が厚く、地域農業への貢献度が高いことから、今後も受託面積の増加が予想されるが、引き続き作業効率の向上に努めるとともに、「つや姫」の他、同じく県の高温耐性品種である「雪若丸」の作付拡大を予定しており、県としても支援していく。			

都道府県平均達成率	80.2%	総合所見	本年度評価報告の事業実施主体は成果目標達成に向け取り組み、指導を推進した結果、概ね目標を達成することができた。未達成の項目がある事業実施主体に対しては、目標達成に向けて重点的に指導を行う。
-----------	-------	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。  
 2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。